



毎年恒例の日本靴連盟主催、
鞆の記念日式典は91回を迎えた。
神田明神御神殿に於いて令和
6年3月15日金曜日、午前10時半より厳かに執り行われた。
コロナ感染症も5類に移行され、
今回は5年ぶりに懇親会も行うことができた。
定時になり、参加者は本殿の式場に着席した。太鼓の音で開式となり、巫女さんの解説のもと、神職のお祓いに続いて祝詞から式は始まり、次の順序で神事は行われた。

第91回 鞆の記念日式典 神田明神で執り行われる

（神事）
修祓 宮司一礼一拍手一礼
祓詞 御祓の儀

招魂の儀・一礼一拍手一礼
献餞の儀（お神酒の蓋を開く）

祝詞奏上・一礼二拍手一礼

玉串奉奠（列席者参加）

撤餞の儀（お神酒の蓋を閉る）
送魂の儀

玉串奉奠の順序は左記の通り

堀田 正典 様

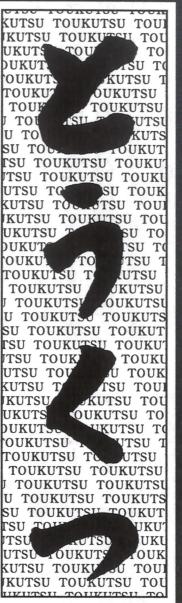
経済産業省製造局

生活製品課課長
田上 博道 様

日本靴連盟会長
連合会 会長

（社）皮革産業協同組合
会長

藤原 仁 様
日本靴連携副会長
NPO日本靴工業会
副理事長



ミにも取り上げられていました。また、昨年5月には4年ぶりに神田祭が賑やかに執り行われました。神田・日本橋を含め108の区域があり神輿が地域を廻ります。現在は神輿が中心ですが、実は江戸時代には神輿は2基でした。資料によりますと6メートルほどの高さの山車を牛が引いていたようですが、現在の祭りと比較すると静かな祭りだったそうです。江戸幕府はこの祭りを2年に一回行うこととしていました。町神輿が増えたのは大正時代になつてからのです。

式典終了後、会場を移し懇親会の前に神田明神の楠宜（ねぎ）岸川雅範様から神田明神に関しての講演をいたしました。「神田明神はTVドラマのビバンや半沢直樹シリーズのロケに使われたり、昨年はNHKの行く年くる年にも中継されるなど最近はマスコ

（栗原様を代表として、参加者一同起立の上、一礼二拍手一礼で参加した）



室町時代の古地図を見ますと太田城と記してあるのがのちの江戸城です。その近くに神田明神がありました。創建は730年です。その後徳川家康が関ヶ原の戦いに際し、神田明神で戦勝祈願をしたとの記録もあります」等神田明神に関する歴史等興味ある詳細な講演をしていただいた。

続いて松戸氏の司会で懇親会に移り、日本靴連盟副会長の武田和芳氏より「神田明神の歴史や各事業をお伺いいたしましたが、我々商売に関しても大変勉強になりました。この会も各団体の顔ぶれが一堂に集い繋がるためにも良い会だと感じます」と開会挨拶をいただき、続いて主催者の日本靴連盟会長の藤原仁氏



がありましたが材料から靴製造、販売と靴業界が繋がる良い会だと感じています。またコロナも明け、今年が大きなきっかけにもつながると思います」と挨拶を行った。

次に来賓のご挨拶を堀田正典様より「私は佐倉藩堀田家の13代目となります」と切り出し、代々の歴史等とても貴重なお話をいただいた。

続いて経済産業省の田上博士様より「株式、貸上げ、な道様より「株式、貸上げ、などの情報から今後は日本経済も良くなつていくのだろう。靴業界も海外に展開するなどしてください。応援をさせていただきます」とご挨拶をいただきました。

理事会・支部連絡会 だより

司会の矢代副会長より理事會の開始を告げ、栗原会長より「今年は桜の開花が遅れていますが、この時期は、年度代わりで入学や入社などで商売も忙しい季節となります。それに向け品揃え等、見直して頑張っていただきたいと思います。

当協会も東青会の若い皆様で、改めて運営など見直していこうと考えております。

機関誌「どうくつ」も50号より2面での構成となりました。

東青会でも、この情報発信の方法も検討していく時期だと感じ検討してまいります。

皆様からも、ご意見を伺いながら新しい協会として取り組んでまいりますので、今後ともご協力をお願いたしました」と挨拶をし、議事に移った。

ミズノが2023年に発売した軟式野球グラブ「T S U N A G I G L O V E」（ツナギグラブ）が好調だ。革の端材をランダムにつなぎ合わせて作るグラブで、SDGsの理念を反映した商品開発を進めながら、廃棄していた端材に着目した。唯一無二のデザインが20～30代の野球好きの男性の支持を集め、追加販売しては即日完売する状況が続いている。

11年前発売した端材をつなぎ合わせて作った商品は、まだSDGsをコンセプトに据えても受け入れられず販売は振るわなかつた。

一、令和六年度事業計画

松戸専務理事より説明。事業計画は現在作成中のため、次回報告の予定。予算案は委託している公益総研より送られてきた暫定予算案資料に基づいて詳細に説明を行つた。

革の端材で野球グラブ
「ツナギグラブ」

革の端材で野球グラブ「ツナギグラブ」

各委員会(催事広報委員会、東青会、理事会、監査会)の日程を検討してそれぞれ決定した。
総会は6月13日開催の確認を行い、理事会は終了した。

一、「靴の記念日」式典について
引き続き松戸専務より「3
月15日に神田明神で、堀田様
を始め経産省、業界役員等が
参加して滞りなく終了いたし
ました」と報告した。(一面
参照)



東京都中小企業景況調査(2月) 業況：3か月連続で改善 目通し：改善期待続く

卸売業			業況		
対象数	回答数	回答率	2月		今後3か月間見通し (当月比)
			悪い	良い	
875	353	40.3%	-100	0	100
1. 男 子 服		○			□
2. 婦 人・子供 服		□			□
3. 靴・履物		□			○
4. かばん・袋物		□			□
5. 装身具・身の回り品		□			□

小売業			業況	
対象数	回答数	回答率	2月	今後3か月間見通し (当月比)
875	287	32.8%	悪い 良い -100 0 100	悪い 良い -100 0 100
衣料・身の回り品	1. 吳服・服地・寝具 2. 男 子 服 3. 婦 人 服 4. 子 供 服 5. 靴・履物 6. かばん・袋物 7. 雑貨・身の回り品 8. 時計・眼鏡 9. ジュエリー製品			

靴専門店では「東京靴流セントラル」を開設するチヨダ土曜日は15.4%伸びた。うるう年やによる効果は5%程度という。降雪の影響で防水機能のあるビジネス靴やスニーカーが人気だった。アプリを使つたポイント還元キャンペーんを開く。客数や客単価も伸ばした。最大手のABCマートは18.1%プラス。在庫一掃セールの集客効果が現れた。新生活に向けローファーなども堅調に推移した。

社名		1月	2月	3月
チヨダ	既存店売上	6.7	15.4	7.2
	客数	-4.6	4.2	-1.0
	単価	11.8	10.6	8.3
	店舗数	891	885	885
ABCマート	既存店売上	11.3	18.1	10.7
	客数	6.2	9.8	2.3
	単価	4.8	7.6	8.3
	店舗数	1083	1081	1084
Gファット	既存店売上	5.7	7.3	7.4
	客数	-15.9	-14.8	-6.1
	単価	25.7	26.0	14.3
	店舗数	651	645	646

日経M.J.がまとめた2月の
主な衣料品・靴専門店の既存
店売上は、12社中11社が前年
実績を上回った。例年より気
温の高い日が多く春物の新作
が好調だった。客単価でも前
年を上回って推移した。

(チヨダ) 前年に比べ土日が一日ずつ多い並びだつた。天候不良の日が多い状況だが、売上は順調に推移した。春物の新作スニーカーが好調。

全般的に気温が低く前半は伸び悩んだが、後半は実需が売り上げを牽引した。

衣料・靴、
春物好調・增收

専門店・大手三社の
直近3か月売上推移